



須崎市・海のまちプロジェクトとKOIB公務員部会の事例

埼玉県 令和7年度 企業版ふるさと納税活用事例セミナー

はじめに

有澤 聡明

須崎市役所プロジェクト推進室 次長

KOIB公務員部会 部会長



高知県 須崎市

■人口：18,772人（令和7年12月末時点）

■高知県中西部に位置し120キロの海岸線を有する「海」のまち

■ご当地

- ・ B級グルメ「鍋焼きラーメン」
- ・ 絶滅したニホンカワウソのキャラクター「しんじょう君」

年度	件数	寄附額（円）
R1	3	5,700,000
R2	3	61,500,000
R3	3	83,000,000
R4	6	98,000,000
R5	7	120,000,000
R6	4	106,000,000
R7	2	100,100,000
合計	28	574,300,000



本日のアジェンダ



- 1 企業版ふるさと納税、現場の「壁」
- 2 須崎市の挑戦①：
高知信用金庫との「海のまちプロジェクト」
- 3 須崎市の挑戦②：
KOIB公務員部会と「龍馬ピッチ」
- 4 多様な応援のカタチと今後の展望

行政と企業の「文化の壁」

行政のOS

公平性

単年度予算主義

前例踏襲

失敗できない（減点方式）

企業のOS

スピード感

投資対効果（ROI）

パッション

リスクテイク（Do Hard Things）

既存マッチングイベントの課題

- 多くの自治体PRが参加し差別化が困難。
- 時間と情報の不足：ブースでの名刺交換（挨拶）だけでは、壁を超える「信頼関係」を築くには時間が足りない。
- 決裁者が不在：そもそも社長が来場していないケースも多く、担当者レベルの「挨拶」で終わってしまう。



高知信用金庫との「海のまちプロジェクト」

■概要

令和3年5月から5年目。事業推進のために高知信用金庫様より企業版ふるさと納税を含む投資は約15億円。単なる資金提供だけでなく、企画・運営まで伴走する「産・官・学・金・言」の体制。

また、高知信用金庫と須崎市で一般社団法人 須崎海のまち公社を設立し施設運営やまちづくりに取り組んでいる。

■須崎市海のまちプロジェクト推進協議会：

主催：須崎市・高知信用金庫

共催：高知県・信金中央金庫・高知大学、須崎総合高校

後援：高知新聞社、高知放送、テレビ高知、高知さんさんテレビ、JR四国、JTB、奥四万十観光協議会、須崎商工会議所、須崎市観光協会



高知信用金庫との「海のまちプロジェクト」

寄附年度	目的	寄附の種別	受領日	金額	基金名
令和2年度	立地適正化計画に基づく市街地整備事業	指定寄附	R3.3.24	100,000,000	図書館のある海のまち創り基金
	図書館を含む複合施設整備事業	企業版ふるさと納税	R3.3.24	60,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	図書館等複合施設建設	指定寄附	R3.3.24	40,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	合計			200,000,000	
令和3年度	立地適正化計画に基づく市街地整備事業	指定寄附	R3.11.18	50,000,000	図書館のある海のまち創り基金
	図書館を含む複合施設整備事業	企業版ふるさと納税	R3.11.18	70,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	図書館等複合施設建設	指定寄附	R3.11.18	30,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	図書館等複合施設建設	指定寄附	R4.3.30	200,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	合計			350,000,000	
令和4年度	図書館を含む複合施設整備事業	企業版ふるさと納税	R4.9.6	75,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	図書館等複合施設建設	指定寄附	R4.9.6	25,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	立地適正化計画に基づく市街地整備事業	指定寄附	R4.9.6	50,000,000	図書館のある海のまち創り基金
	合計			150,000,000	
令和5年度	立地適正化計画に基づく市街地整備事業	企業版ふるさと納税	R6.3.5	100,000,000	図書館のある海のまち創り基金 →まち・ひと・しごと創生推進基金
	合計			100,000,000	
令和6年度	立地適正化計画に基づく市街地整備事業	企業版ふるさと納税	R6.12.25	100,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	合計			100,000,000	
令和7年度	立地適正化計画に基づく市街地整備事業	企業版ふるさと納税	R8.1.15	100,000,000	まち・ひと・しごと創生推進基金
	合計			100,000,000	

企業版ふるさと納税

5億500万円

指定寄付

4億9500万円

その他物品等の寄付

関連する財団からの助成

高知信用金庫との「海のまちプロジェクト」

◦ 経緯： 指定金融機関のご相談

→理事長自ら市長訪問し断るつもりが熱烈な歓迎で断れず

→庁舎の老朽化・応接ソファなど備品の酷さに

「みんなで創ろう須崎市庁舎リノベーションプロジェクト」発足
庁舎リノベーションを信用金庫職員さんと一緒に取り組む。



高知信用金庫との「海のまちプロジェクト」

- 経緯： 庁舎リニューアルにより関係性が深まり「まち丸ごとリノベーション」の企画を提案→海のまちプロジェクト立ち上げ
高知信用金庫 100周年記念事業として位置付けいただく。
須崎市発祥の須崎信用組合が母体のため、創業の地という理由も
- 現在： 駅・観光拠点などのエリアリノベーションによる観光化により観光客数増加。
現在、分散型ホテル構想： 銭湯「錦湯」、レコード店「岩井レコード店」、老舗旅館「吉村旅館」など、空き家をリノベーションして街全体をホテル化する構想を推進。
- ポイント： まちづくりの企画を一緒に考え協力しながら進める体制

KOIB（高知イノベーションベース）とは？

- KOIB概要：「プロの起業家が次世代を担う起業家を生み育てる」プラットフォーム。起業家コミュニティEOが母体となり日本各地にIBが設立されている。
- 公務員部会の設立：自治体職員が参加する「公務員部会」を設立。
- 公務員部会の活動資金、公務員の会費について課題となる。
 - 企業版ふるさと納税で起業家と共創できないか
 - 企業版ふるさと納税マッチング支援で財源確保してはどうか



壁を越える装置「龍馬ピッチ」

。概要：KOIBが主催するイノベーションサミットにて、EO Setouchi（起業家ネットワーク）やKOIB会員の前で地域課題解決プランを発表。参加者には企業版ふるさと納税を含めどのような支援をするか検討いただく。

また、事前に企業版ふるさと納税の勉強会を起業家と実施し、登壇者には社長がメンターとして参画。

参加者アンケート結果	
企業版	7件
個人版	27件
リソース提供	11件
寄付	8件



アプローチの研究と共有（登壇者と定例会）

- 継続的な研究：イベントは点に過ぎない。登壇者と企業へのアプローチ方法を研究する定例会を開催。
- 戦略共有：「どの企業コミュニティにアプローチするか」「誰がキーマンか」「どの事業が刺さるか」をチームで考え、ナレッジを共有・蓄積している。
- 起業家との接点：KOIB公務員部会として、KOIBの企画に参画しており自然と接点が生み出されている。また毎年龍馬ピッチを行うことで、共創の関係を強化できる。



資金だけではない「応援」の広がり

◦ 関係性の深化をどこで作るか？

信頼関係から生まれる多様なリソース提供。

◦ 多様な展開：

- 企業リソース：ノウハウ、人材、技術の提供。企業版ふるさと納税。
- 個人版への波及：社長の共感が、個人版ふるさと納税にもつながる。

町を盛り上げたい!『ゼロから甲子園出場を目指す』窪川高校野球部の挑戦

カテゴリ：子ども・教育



寄付金額

5,732,500円

229.3%

目標金額:2,500,000円

達成率
229.3%

支援人数
398人

終了まで
36日 / 90日

📍 高知県四万十町(こうちけん しまんとちょう)

♡ お気に入り